

教育・教育活動等の情報公開

1. 教育研究上の目的

建学の精神

『命と向き合う心、知識、技を持った地域医療に貢献できる医療人の養成』

「保健医療に関する理論および技術を教授研究し、並びに豊かな人間性および高潔な人格を兼ね備えた資質の高い人材を養成することにより、保健医療の向上と福祉の増進に寄与することを目的とする。」

【看護学科の教育理念】

岐阜保健短期大学看護学科は生命の尊厳と人間尊重の視点に立った、豊かな人間性と幅広い教養を基盤とし、深い専門知識・技術を身につけた総合的な判断力と、常に自己研鑽を続ける意欲を持った看護師の育成を目指すものである。併せて、地域に根ざした実践者として地域の保健・医療・福祉の向上に貢献する。

《看護学科の教育目標》

- 1) 生命の尊厳について深く理解し、人間の痛みや苦しみ、喜びを共感できる心を持ち、人としての権利を尊重して行動できる豊かな人間性を養う。
- 2) 人間、健康、環境、看護実践に関する専門的知識・技術を修得し、科学的な根拠に基づいた判断と問題解決行動がとれる基礎的能力を養う。
- 3) ライフサイクルの各期、健康のあらゆる段階の対象に応じた看護を実践するため、患者・家族との良好な人間関係を確立する能力を養う。
- 4) 保健・医療・福祉にかかわる人々と連携・協力して、看護の責任ある実施と共にチームの調整的役割を果たす能力を養う。
- 5) 社会の変化や医療・看護の進歩に対応して積極的に自己学習する能力を養う。

【リハビリテーション学科の教育理念】

豊かな人間性と想像力を備えた資質の高い保健医療技術者を育成するとともに、地域に開かれた大学として生涯学習の機会を提供することにより、地域の人々の健康、福祉の向上に寄与する。

理学療法士・作業療法士が関与する様々な分野での高度な知識や技術に精通した専門職を養成するとともに、人間性豊かな自己実現に向けて前向きな努力を示す「人」の育成を目的とする。そのためには、「人の理解」「人との協力」「人の科学的分析」の視点で教育を進めることにより、高齢化、国際化、情報化と社会情勢の変化に的確に対応できる知識・技術と豊かな人間性を兼ね備えた保健医療技術者を育成することをめざす。

《リハビリテーション学科の教育目標》

- 1) 人間と社会に対する深い理解と生命の尊厳の認識を深め、人としての権利を尊重できる保健医療技術者の育成。
- 2) 高度・専門医療に対応し得る幅広い知識・技術を備えた保健医療技術者の育成。
- 3) 進んで自ら学ぶ精神と態度を身につけ、高齢化、国際化、情報化等時代の変化に的確に対応できる保健医療技術者の育成。
- 4) 保健医療チームの一員として他職種と協調し、自ら考え積極的に保健医療活動を実践できる保健医療技術者の育成。

3つのポリシー

アドミッションポリシー(入学者受け入れ方針)

本学は、以下のような資質を備えた人々を積極的に受け入れます。

- 1) 対人関係を良好に保つ能力を備えた人。人間(ヒト)に深い関心と畏敬の念を持ち、多様な価値観や文化的背景を理解し、人との出会いを通じて学び合おうとする人。
- 2) 資格取得に向けた高い意欲を持ち続けられる人。看護学およびリハビリテーション学に対する知的好奇心が旺盛で、課題に向かって主体的に行動できる人。
- 3) 論理的思考を遂行するための基礎的な学力を備えた人。絶え間なく進歩する医学を理解していくための基礎学力を有し、それらを探求する姿勢のある人。

カリキュラムポリシー(教育課程編成方針)

本学のカリキュラムは看護学科及びリハビリテーション学科のそれぞれの教育理念・教育目標に基づき、基礎から専門・応用へと段階的に学習し、実践的な医療人になるための編成です。基礎的な学習では、「総合科学科目」として社会生活に有用な、幅広い視野と協調性を有した人材の育成を目的とした科目を配置します。さらに、専門科目は「専門支持科目(看護学科)、専門基礎科目(リハビリテーション学科)」として臨床での実践力の基礎となる科目を学習し、ついで専門知識・技能を身につけ、判断力・実践力を持つ専門職業人となるため「基幹科目・展開科目(看護学科)、専門展開科目(リハビリテーション学科)」を配置します。

総合科学科目群

「外国語」「情報科学」「人間と文化」「現代社会と人間」「環境と科学」から構成され、高等学校からの連携教育を図りつつ将来、人間(ヒト)を対象とする職業に就くことを誇りに思い、あらゆる健康状況にある人々および様々な医療専門職者との積極的な連携・協働を可能にする積極性と協調性・コミュニケーション能力を育成する科目群です。

専門支持科目(看護学科)

専門基礎科目(リハビリテーション学科)

「人体の構造と機能」「疾病の成り立ちと回復過程」「保健医療福祉制度」から構成され、生命の尊厳と人権の尊重に基づく倫理観を培い、エビデンスに基づいた技術を展開できる能力を育成する科目群です。

基幹科目・展開科目（看護学科）

専門展開科目（リハビリテーション学科）

看護学科では「看護の基本」から「統合と実践」を、リハビリテーション学科では「評価」から「治療」に及ぶ科目を習得し、臨地実習及び臨床実習を通して医療従事者として保健・医療・福祉の現場で生じる問題に対応し、実践的に処理できる能力を育成する科目群です。

以上３種の科目群を通して、国家資格を取得しキャリア形成することを意識し、医療従事者として地域社会に貢献できる人材を育成するカリキュラム構成です。

ディプロマポリシー（学位授与方針）

本学の学則に定める卒業要件に必要な単位を修得し、卒業までに以下の能力を備えた学習者に「短期大学士」の学位を授与します。

- 1) 人間(ヒト)に深い関心を持ち、多様な価値観や文化的背景を理解でき、幅広い教養を身につけている。
- 2) 看護学およびリハビリテーション学について科学的思考に基づく判断力と問題解決能力を身につけている。
- 3) 卒業後に医療従事者として生涯にわたり研鑽を積み、保健・医療・福祉の分野に貢献できる能力を身につけている。

2. 教育研究上の基本組織

学 科・専 攻	入学定員	修業年限	区 分	収容定員
看 護 学 科	80 名	3 年	昼間・共学	240 名
リハビリテーション学科 〔理学療法学専攻〕	60 名	3 年	昼間・共学	180 名
リハビリテーション学科 〔作業療法学専攻〕	30 名	3 年	昼間・共学	90 名

3. 教員組織・教員数並びに各教員が有する学位及び業績

専任教員数

平成30年5月1日 現在

職位	性別	看 護 学 科	リハビリテーション 学 科 〔理学療法学専攻〕	リハビリテーション 学 科 〔作業療法学専攻〕
教授	男性	2 名	3 名	1 名
	女性	8 名	1 名	1 名
准教授	男性		1 名	
	女性	1 名		
講師	男性	1 名	4 名	1 名
	女性			1 名

助教	男性	1 名	1 名	1 名
	女性	3 名		1 名
助手	男性			
	女性	4 名		
計	男性	4 名	9 名	3 名
	女性	16 名	1 名	3 名
合計		20 名	10 名	6 名

専任教員の年齢構成

平成30年5月1日 現在

年齢	性別	看護学科	リハビリテーション 学科 〔理学療法学専攻〕	リハビリテーション 学科 〔作業療法学専攻〕
31～40 歳	男性	1 名	1 名	1 名
	女性	1 名		1 名
41～50 歳	男性	1 名	3 名	2 名
	女性	5 名		2 名
51～60 歳	男性	1 名	4 名	
	女性	4 名		
61 歳 以上	男性	1 名	1 名	
	女性	6 名	1 名	1 名
計	男性	4 名	9 名	3 名
	女性	16 名	1 名	3 名
合計		20 名	10 名	6 名

専任教員の学位及び業績

平成30年5月1日 現在

<http://www.gifuhoken.ac.jp/pdf/staff.pdf>

4. 入学者受入方針及び入学者数、収容定員及び在学する学生の数、卒業者数、就職の状況

入学者数

平成30年5月1日 現在

平成30年度 入学者選抜状況 看護学科	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数	
	男	女	男	女	男	女	男	女
	133名		127名		123名		93名	
	22名	111名	20名	107名	19名	104名	15名	78名

平成30年度 入学者選抜状況 リハビリテーション学科 〔理学療法学専攻〕	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数	
	男	女	男	女	男	女	男	女
	28名		27名		26名		20名	
	19名	9名	18名	9名	17名	9名	14名	6名

平成30年度 入学者選抜状況 リハビリテーション学科 〔作業療法学専攻〕	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数	
	男	女	男	女	男	女	男	女
	18名		18名		18名		15名	
	6名	12名	6名	12名	6名	12名	4名	11名

在学生数

平成30年5月1日 現在

		看護学科	リハビリテーション学科 〔理学療法学専攻〕	リハビリテーション学科 〔作業療法学専攻〕	総計
入学定員		80名	60名	30名	170名
収容人員		240名	180名	90名	510名
1年次	男	18名	18名	6名	42名
	女	81名	9名	12名	102名
2年次	男	18名	22名	12名	52名
	女	52名	10名	5名	67名
3年次	男	16名	20名	3名	39名
	女	51名	15名	5名	71名
計	男	52名	60名	21名	133名
	女	184名	34名	22名	240名
総計		226名	94名	43名	373名

卒業者数・就職者数・就職状況

平成30年5月1日 現在

	看護学科	リハビリテーション 学科 〔理学療法学専攻〕	リハビリテーション 学科 〔作業療法学専攻〕
卒業者数	62名	15名	9名
就職希望者数	62名	15名	9名
就職者数	55名	15名	6名
就職率	88%	100%	67%

5. 授業科目、授業内容、授業計画

平成30年度シラバス http://www.gifuhoken.ac.jp/pdf/27_syllabus.pdf

6. キャンパス情報

キャンパスマップ

5号館 http://www.gifuhoken.ac.jp/campus_map_5.html

7号館 http://www.gifuhoken.ac.jp/campus_map_7.html

アクセス <http://www.gifuhoken.ac.jp/access.html>

7. 授業料・学費等

入学検定料（平成30年度実績）

看護学科 30,000円

リハビリテーション学科 30,000円

入学金・学費（平成30年度実績）

【看護学科】

内 訳 年次	入学金	学 費			合 計
		授 業 料	実 習 費		
1 年次学納金	200,000 円	前期	450,000 円	50,000 円	700,000 円 (入学時納入金)

	—	後期	450,000 円	50,000 円	500,000 円
2 年次学納金	—	前期	450,000 円	125,000 円	575,000 円
	—	後期	450,000 円	125,000 円	575,000 円
3 年次学納金	—	前期	450,000 円	175,000 円	625,000 円
	—	後期	450,000 円	175,000 円	625,000 円
3 年間の納入総額					3,600,000 円

上記の他に、実習用ユニホーム、シューズ、抗体検査料、総合補償制度保険料等の費用（約 7 万円）と教育充実費（1 年次 10 万円、2 年次 20 万円、3 年次 20 万円）が必要となります。

【リハビリテーション学科 〔理学療法専攻〕〔作業療法学専攻〕

内訳 年次	入学金	学 費			合 計
		授 業 料		実習費	
1 年次学納金	100,000 円	前期	500,000 円	50,000 円	650,000 円 (入学時納入金)
	—	後期	500,000 円	50,000 円	550,000 円
2 年次学納金	—	前期	500,000 円	125,000 円	625,000 円
	—	後期	500,000 円	125,000 円	625,000 円
3 年次学納金	—	前期	500,000 円	175,000 円	675,000 円
	—	後期	500,000 円	175,000 円	675,000 円
3 年間の納入総額					3,800,000 円

上記の他に、実習用ユニホーム、シューズ、総合補償制度保険料等の費用（約 6 万円）と教育充実費（1 年次 10 万円、2 年次 20 万円、3 年次 20 万円）が必要となります。

8. 学生支援

担任制度・学習支援

http://www.gifuhoken.ac.jp/campus_support.html

奨 学 金 http://www.gifuhoken.ac.jp/nyu_cholarship.html